

第7期 第3回「中央区自立支援協議会」議事要旨

- 1 開催日：令和4年2月22日（火）
- 2 開催方法：書面開催（「意見票」の提出をもって出席とする）
- 3 議事
 - (1) 各部会からの報告【資料1-1】～【資料1-4】
 - (2) 令和4年度における中央区の取組【資料2】
 - (3) 令和4年度中央区障害者（児）実態調査について【資料3】
 - (4) その他

4 出席者

委員 18名

是枝会長、齋藤副会長、上田委員、橋本委員、草川委員、相澤委員、前場委員、室田委員、磯野委員、沼崎委員、佐野委員、佐藤委員、小林委員、丸物委員、古田島委員、田中委員、山本委員、生島委員

5 要旨（意見票）

○齋藤副会長

資料2「令和4年度中央区予算（案）の概要（障害分野抜粋）」に市街地再開発事業助成が約178億円とあるが、障害者グループホームに当たる額や収容人数などはまだ決定していないか。また、多機能拠点整備型の地域生活支援拠点はこの施設にできるのか。

⇒（中央区）178億円のうち、障害者グループホームを含む月島三丁目北地区市街地再開発事業助成金は17億円である。障害者グループホームの運営方法等を含めた詳細は検討中であるが、当再開発事業に伴い短期入所など様々な機能を有する地域生活支援拠点を整備する予定である。

○上田委員

①各部会からの報告

- ・各部会も具体的なことが議論されており、中央区の次年度の取り組みや各行政計画を作成する際には、重要な役割を果たすと期待できる。
- ・「障害者（児）サービス部会」の報告については、家族全体へ支援することが障害者自身への支援に繋がるといった点などが重要だと思った。
- ・「地域移行・地域定着部会」については、ピアサポーターの活用、住まいの確保支援などが重要だと思った。
- ・「就労支援部会」については、コロナ禍においても就労を希望する障害者への様々な取組がなされていることが素晴らしいと思った。

- ・「医療的ケア児等支援連携部会」については、待望されていた「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」を部会で検討してきたことは意義があり、また、新法の対象者に関する具体的な報告がされていて現状や課題がよくわかった。しかし、新法に関する周知が不十分であるので、区報やホームページ等による効果的な周知を検討してほしい。

②令和4年度における中央区の取組

- ・協議会や部会で出された内容を取組に活かしてほしい。

○室田委員

①令和4年度における中央区の取組

- ・資料2「令和4年度中央区予算（案）の概要（障害分野抜粋）」の市街地再開発事業助成約180億円のうちの約17億円は障害分野の予算という理解でよいか。また、17億円の内訳の報告をお願いしたい。

⇒（中央区）資料にある約17億円の予算は、障害分野以外も含んだ月島三丁目北地区市街地再開発事業に係る助成金である。同地区では、住宅、店舗、公益施設、保育所、障害者グループホーム等を整備する計画である。

- ・自立支援協議会および各部会で取り上げられている項目に分類、仕訳された予算額はどのようになっているか。

⇒（中央区）令和4年度中央区予算（案）のうち、障害者福祉に要する経費である障害者福祉費は3,430,529千円であり、内訳として、自立支援給付事業2,435,221千円、移動支援を含む障害者生活支援事業394,519千円、リフト付ハイヤー運行を含む障害者の社会参加推進事業93,542千円、障害者就労支援センター事業を含む障害者の就労支援事業80,925千円などがある。また、資料2に示したように、令和4年度においては、地域生活支援事業（移動支援）、重症心身障害児（者）在宅レスパイト事業およびリフト付ハイヤー運行の拡充を予算化する。

②その他

精神障害者家族会として、下記の事柄を行政として実現してほしい。

- ・当事者自身の苦痛とその家族に関する緊急避難場所等の設置。
- ・ピアサポーター制度の導入。
- ・心身障害者福祉手当の対象を精神障害者手帳2級保持者まで拡大。
- ・親亡き後を見据えた地域、環境づくりの支援。

○磯野委員

障害者施設について、利用者だけではなく、広く知ってもらえるようにPRしてほしい。

○佐野委員

障害がある場合、自助で頑張らねばとか、外に出すのはかわいそうと考える人もいるが、民生委員として、こういう人たちの見守りのお手伝いができるようになれば良いと思う。

○佐藤委員

各部会からの報告について、議題や意見交換の内容等が分かり、勉強になった。特に、地域移行・地域定着部会の別紙3「中央区における取組ロードマップ(案)」が参考になった。

○田村委員

- ・障害者(児)サービス部会と地域移行・地域定着部会において、「地域で相談できる場」と「ピアサポート」の考え方に共通性が多く、各部会でアプローチしていくと中央区独自のものが出来るのではないか。
- ・就労継続支援B型利用者の憩いの場が、かえで学級以外にもあると良いと思う。
- ・資料1-4に、医療的ケア児については一人一人の個別対応が必要であり、受け皿の確保が重要課題であるという意見があるが、医療的ケアの内容により段階化を図り、体制を整備していくことも大切だと思う。

○丸物委員

中央区の取組として、障害者がより社会に出やすくするために、都バス同様に江戸バスも料金無料にしてはどうか。

○古田島委員

障害者が継続してスポーツを楽しめるような体制づくりを行うため、社協をはじめ区内の障害者施設や地域団体との協力関係が不可欠である。特に、「スポーツクラブ大江戸月島」による「スポーツ・レクリエーション教室」との連携を進めてほしい。

以上